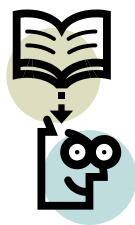
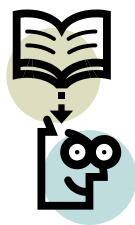
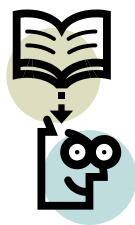


科 目 名	総合実習（農業）	単 位 数	4 単位	学 科 ・ 学 年	生活総合 科 2 年																																				
使用教科書	なし		文部科学省	副 教 材 等	なし																																				
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																								
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table><tr><td>①知識・技術</td><td colspan="4">栽培方法や管理方法を理解し、実践することができる。作物の生理・生態、生育環境について、理解できている。</td></tr><tr><td>②思考・判断・表現</td><td colspan="4">作物の生育状況・生育環境から、また、実習日誌への記録・まとめなどから、課題を発見し、適切に解決する力を身につけている。</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む</td><td colspan="4">一つ次の事を考え積極的に協働的に行動することができる。体験的な学習を通して、興味を持ち自学自習したことを、実習日誌に記録していくことができる。</td></tr><tr><td rowspan="4"></td><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td>学習状況観察</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td><td></td></tr><tr><td>実習日誌</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td><td></td></tr><tr><td>成果</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td><td></td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところ。					①知識・技術	栽培方法や管理方法を理解し、実践することができる。作物の生理・生態、生育環境について、理解できている。				②思考・判断・表現	作物の生育状況・生育環境から、また、実習日誌への記録・まとめなどから、課題を発見し、適切に解決する力を身につけている。				③主体的に学習に取り組む	一つ次の事を考え積極的に協働的に行動することができる。体験的な学習を通して、興味を持ち自学自習したことを、実習日誌に記録していくことができる。					評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	○	◎	◎		実習日誌	○	◎	◎		成果	○	◎	◎	
①知識・技術	栽培方法や管理方法を理解し、実践することができる。作物の生理・生態、生育環境について、理解できている。																																								
②思考・判断・表現	作物の生育状況・生育環境から、また、実習日誌への記録・まとめなどから、課題を発見し、適切に解決する力を身につけている。																																								
③主体的に学習に取り組む	一つ次の事を考え積極的に協働的に行動することができる。体験的な学習を通して、興味を持ち自学自習したことを、実習日誌に記録していくことができる。																																								
	評価方法\観点	①	②	③																																					
	学習状況観察	○	◎	◎																																					
	実習日誌	○	◎	◎																																					
	成果	○	◎	◎																																					
履 修 上 注 意	○ 授業は、クラスを家庭科分野と農業分野の2つに分け、隔週で交替する。 ○ 実習は、必ず実習服に着替えて、時間までに集合すること。 ○ 時間外（放課後）や長期休業中（春・夏・冬休み）にも総合実習がある。 ○ 毎時、実習内容などを実習日誌に記録し、提出すること。																																								

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
一 学 期	4	野菜の管理 スイートコーン、サツマイモなど春～ 夏野菜の栽培	44	野菜（元肥、畝作り、播種、育苗、定植、追肥、中耕、除草など）の栽培管理を学ぶ。また、収穫調整の仕方を理解し、収益性について学ぶ。	作業状況の観察 出席 実習態度 実習日誌等の提出状況
	5				
	6				
	7				
	8	夏～冬野菜の苗管理、播種方法 （白菜、大根、ホウレンソウなど）	16	葉菜類や根菜類の播種方法にいて、学ぶ。	
二 学 期	9	夏～冬野菜の苗管理、播種方法 （白菜、大根、タマネギなど）	38	元肥、畝作り、定植、除草、追肥、かん水、病害虫対策について、学ぶ。	作業状況の観察 出席 実習態度 実習日誌等の提出状況
	10				
	11				
	12	夏～冬野菜の収穫、加工 （白菜、大根、ホウレンソウなど）	16	白菜や大根の漬物加工や収穫調整と販売実習を通じて収益性を理解する。	作業状況の観察 出席 実習態度 実習日誌等の提出状況
三 学 期	1	ホウレンソウの収穫、管理。春作の準備。	26	土作りや収穫調整と販売実習を通じて収益性を理解する。	作業状況の観察 出席 実習態度 実習日誌等の提出状況
	2				
	3				
		合計時間数	140		